

&lt; 認知症対応型共同生活介護用 &gt;

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	4673100097
法人名	医療法人 誠心会
事業所名	グループホーム あったかハウス松元
訪問調査日	平成 20 年 6 月 17 日
評価確定日	平成 20 年 7 月 24 日
評価機関名	特定非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会

### 項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

### 記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### 用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年6月20日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4673100097
法人名	医療法人 誠心会
事業所名	グループホーム あったかハウス松元
所在地	鹿児島市石谷町1211-23 (電話)099-246-7300

評価機関名	特定非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会
所在地	鹿児島市城山1丁目16番7号
訪問調査日	平成20年6月17日   評価確定日   平成20年7月24日

## 【情報提供票より】20年5月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 2 月 12 日
ユニット数	2 ユニット   利用定員数計 18 人
職員数	13 人   常勤 10人, 非常勤 3人, 常勤換算 11.5

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り	
	1 階建ての	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	16,500円	その他の経費(月額)	9,000円(管理費)	
敷金	有( )円	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )30,000円)	有りの場合 償却の有無	有( )無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		800円	

### (4) 利用者の概要 5月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名		
要介護3	9 名	要介護4	6 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 87.4 歳	最低	80 歳	最高	94 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 誠心会 ゆのもと記念病院 まえはらりハビリクリニック
---------	---------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

あったかハウス松元は旧松元町の自然環境豊かな場所にある。建物は天井が高く、天窓がつけられ室内が明るく広々としている。母体が病院で医療面が充実し、同法人のグループホームが複数あり、同じ理念を掲げ、職員は交流、学習し、それを活かしたケアがなされ、入居者は日々の穏やかな生活を送っている。地域行事に参加しながら、更に毎月ホームにて地域交流会を開催し、地域との交流が活発に行われている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価での主な改善課題6項目の内3項目(家族へ報告、職員を育てる取り組み、現状に即した介護計画の見直し)についての改善はなされている。残りの3項目(運営推進会議を活かした取り組み、同業者との交流を通じた向上、重度化や終末期に向けた方針の共有)については改善に向けて努力しているが、今後も引き続き課題としている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 今年度の自己評価作成にあたり、職員全員で、項目にそってそれぞれが自己評価に取り組んでいる。評価の勉強会を行い、各ユニット毎で管理者、計画作成担当者がまとめている。評価の意義と狙いを十分理解され、前年度の評価と見比べながら作成までに1ヶ月かけて取り組みがなされている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議のメンバーにより、2ヶ月に1回開催されている。今年度は包括支援センター職員の出席があり、前年度より一歩前進をしている。会議録が報告、案内、議題で終わるのではなく議題にそった問題に家族、地域住民代表、包括支援センター職員の双方向的な会議の具体的な記録を残され、職員間で情報が共有できるように検討していただきたい。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 意見箱の設置、外部相談窓口も重要事項に明示され、家族会、ホーム主催の地域交流会への参加、運営推進会議などで家族の苦情、意見が言えるよう取り組んでいる。尚ご家族のホーム来訪時も気軽に相談できるよう日頃から手紙や電話で接している。意見や要望があれば職員で話し合い、運営に反映している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) ホームでは地域の人を招いて毎月第2土曜日に地域交流会を開催している。年に1回はその会に家族も参加してもらい地域の人と家族の交流も図っている。地域の文化祭、小学校運動会、六月灯、毎月開催される老人会(楽しも会)など地域行事にも参加して地域の人達と活発な交流が図られている。

## 2. 評価結果 (詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	18年度の介護保険法で地域密着型サービスが創設され、事業所は今までの理念の基に、地域の中で暮らし続けることを支援していくことを追加して事業所独自の理念を作っている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝の申し送り時職員全員で理念の唱和を行い、玄関、フロア、職員トイレに理念を掲げ共有が図られている。職員は常に理念を意識しながらケアを実施されている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームは地域との交流を大事に考え、ホームに於いて蕎麦づくり、菓子づくりなど地域の人を招いて毎月交流会を開催している。地域行事の文化祭、六月灯、小学校のバザー、運動会、老人会の楽しみ会に参加するなど地域との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前年度の外部評価の改善点について会議で話し合い改善されている。一部については尚今後も引き継ぎ改善を要する課題もある。自己評価の意義を理解して職員全員参加して一ヶ月間かけ一つ一つの項目に取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域代表としてのメンバーが民生委員のみであったが昨年度より包括支援センター職員が参加できるようになり2ヶ月に1回定期的開催している。会議録では地域メンバー、家族代表者の詳細な話し合いが行われた様子が見えない。		多数の地域有識者の参加を呼びかけられ、会議も報告、情報交換の題目のみにとどまらず、メンバーと意見、質問、助言など交換されたことを、具体的に記録し、職員間で共有できるようにしていただきたい。

鹿児島県 グループホーム あったかハウス松元

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護相談員の受け入れにより得られた意見を活かしたり、支所の窓口担当者を訪問し、パンフレットや情報をもったり、社会福祉協議会の講座に参加するなど機会をつくりながらサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月ご家族には担当者が入居者の暮らしの様子を書いて郵送している。その他行事で撮った写真、行事案内、年2回発行するホーム便りなどがある月はそれらを同封している。金銭出納帳は来訪時に確認してもらっている。遠方の人にはコピーを同封している。健康状態や必要事項については電話や面会時にも伝えている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	窓口意見箱の設置や外部の相談窓口を明示し、家族会、地域交流会に家族も参加する機会を設けるなど気軽に意見がでるように努力している。家族の意見、不満、苦情、要望は対処できるよう職員と話しあい、運営に反映させている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は入居者にダメージを与えないように同系列の事業所が沢山あっても職員の異動はしていない。管理者も職員が不満を持たないでお互いの思いを話し合えるような環境に努め、1年間職員の異動は無い。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は法人全体の研修を実施し毎月第4金曜日にホームから研修に参加している。管理者はホーム自体で施設内研修年間計画を立て毎月勉強会をするよう取り組んでいる。その他外部研修にも積極的に参加し、全職員が段階的に学習できるよう機会を図っている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同法人の複数のグループホームとの情報交換はしている。市町村合併以降、地域のグループホーム連絡協議会の活動は停滞しており、他同業者との交流にまで至っていない。		他の同業者との相互訪問や相互学習の交流の活動を通じ、職員の質を高め、サービスの質を向上させていく取り組みを検討していただきたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>関連施設からの入居が多く、ご家族の連携を含め、相談員を中心とした入居に向けての取り組みが実践され、本人が安心して、納得して入居している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は入居者を介護される一方の立場におかず一日の流れの中に於いて「ゆっくり、ゆったり、けれどもしっかり」の理念にそいながら共に過ごしている。入居者の個性を大切に、尊敬しながら感謝の言葉かけをして支えあう関係を築いている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は入居者の日常生活の中で、会話や態度からの気づきを個人記録や日誌に記録し、思いや意向を把握している。家族からの情報提供なども参考にしながらさまざまな角度から把握に努めている。意思表示の困難な場合は家族と話し合いながら本人本位に検討している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者やご家族の意向を反映させる介護計画となるよう本人、ご家族、職員が普段の暮らしぶりの中で得た情報を持ち寄り、入居者の能力に見合った、生活リハビリの意見やアイデアを反映した利用者本位の介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>ケアプラン評価表を毎日記録し、日々の表情の変化なども書き込みをし、常に現状が把握できるよう対処している。管理者は月末に申し送りノートとケアプラン評価表とで、その月のトータル評価をし、新たな介護計画の見直し、スムーズに行える仕組みを作っている。急な変化の場合は迅速に見直しをして新たな介護計画を作成している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	看護師の配置や医療機関と連携した往診も定期的に行って生活の継続ができるよう支援している。通院に家族が付き添えない場合代行したり、自宅への帰宅、お墓参り、買い物など多機能性を活かした柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族の了解を得て、定期健診・居宅管理指導を受けている。緊急時の主治医との連携、協力医療機関との医療連携体制もできている。協力医療機関以外のかかりつけ医の場合も、家族了解のもと、受診を支援し、家族と情報交換をしている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期の対応については入居時や急変時に入居者、ご家族、主治医と話し合っているが、支援経過に詳しい記録が見られず、方針が共有されているとは言い難い。開設以来看取りはしていない。		重度化時に話し合われた家族や主治医との詳細な内容を支援経過に記録し、関係者間で情報を共有できるようにしていただきたい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者の入浴、排泄支援や日常の言葉遣いにはプライバシーを尊重した支援を行っている。個人情報の取り扱いについても職員との雇用契約時に秘密保持の取り決めを行いプライバシー確保の徹底を図っている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々その人らしく、その日の体調に合わせた生活が送れるように、入浴、散歩、朝寝、買い物、テレビ視聴、など職員の都合を優先することなく希望に添って支援をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の好きな食べ物の要望を採り入れながら1週間の献立を作り、下ごしらえや味見の手伝いをしてもらいながら食事の準備をし、ゆっくり時間をかけながら一緒に食事をし、サポートの必要な人の隣に職員が寄り添うなど皆で食事を楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日、入浴時間に捉われることなく本人の希望に合わせた入浴の支援がされている。体調の悪い人には清拭、足浴を行っている。本人が気乗りしないときは時間を置いて声掛けをしたり、音楽でリラックスして気分転換するなど入浴支援をしている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の身体能力に応じた役割(新聞とり、玄関の鍵開け、保管野菜の新聞包装、お茶入れ、お菓子づくり、焼きそばづくりなど)役割が楽しみになったり、気晴らしになったり、張り合いを感じるような支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気のよい日はホーム内だけで過ごすことが無いよう、散歩やドライブ、買い物と出かけている。敷地が広く車椅子で、庭の野菜や花、隣の広い畑が楽しめる。中庭でのお茶会や食事をするなど戸外で過ごす支援をしている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関、勝手口とも鍵をかけず常に開放して、入居者も自由に入出入りし、家族や関係者も気軽に訪れることができる。出かけて心配な人には注意を払い職員が寄り添って散歩している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署立会いで消火・避難誘導など消防訓練を実施している。昨年12月の訓練時より地域の人にも参加してもらい、協力が得られるように働きかけている。		年2回の防災訓練以外、夜間の火災訓練や地震、台風などの災害に備えた自主訓練・学習をされることが望ましい。又非常時に備えた非常食、備品についても検討されることを望む。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は協力医療機関の管理栄養士作成の資料を参考にし、年1～2回ホーム作成の献立を見てもらっている。今回地域の石坂の里で行われる地域行事にみえる栄養士さんに献立のアドバイスを受ける予定をしている。食事摂取量、水分量の記録をし、状態を把握しながら管理している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者が大半の時間を過ごす食堂兼リビングは天井が高く天窓があり室内は明るく広々と落ち着いた造りで、車椅子で自由に移動ができる。壁には入居者の作品(季節の紫陽花を紙細工で作ったもの。)や、行事に参加された写真などが飾られ、日頃の様子が感じられる。テーブルや和室の床には花が生けられ家庭的で居心地よく過ごせる工夫をしている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベット、整理ダンス、洋服ダンスはホーム備え付けのものであり画一化された部屋に見えるが、それぞれの部屋は月日を経て使い慣れたテレビや仏壇、抱き人形、鏡、椅子、、テーブル、家族の作品(パッチワークでできた壁飾り)など備品が持ち込まれ本人が暮らし易い個性のある部屋になっている。		